

募集要項

巡回展「未来へつなぐ博物館」開催館の募集について

1. 本募集の趣旨

国立科学博物館は、令和5年にクラウドファンディングに挑戦し多くの方々から標本・資料を未来へ受け継ぐためのご支援をいただきました。その想いを広く共有し、標本・資料の重要性と博物館の役割を全国各地で伝えていくために、現在、巡回展「未来へつなぐ博物館」を制作しています。

については、**令和9年度・10年度に本巡回展を開催いただける館を募集いたします。**

2. 巡回展の概要・特徴

<概要>

博物館には、標本・資料を集め、残し、調べ、伝えるという大切な役割があります。展示室で目にする標本・資料は、博物館の長い営みの一部であり、多くは収蔵庫で大切に守られながら、次の時代へと受け継がれていきます。本展では、標本・資料の価値とそれを支える人々の仕事に目を向けながら、各地域の博物館の収蔵品や活動をあわせて紹介することで、博物館という場所が人と時間の積み重ねの中で育まれてきたことを伝えます。

<特徴>

① 標本・資料が選択可能

動物・植物・地学・人類・理工分野から展示内容を選べるため、展示環境や館の特性に合わせた展示構成が可能。

② 多様な施設で開催可能

コンパクトな什器を使用しているため、大型エレベーターなどの特別な設備を必要とせず、さまざまな会場に対応。

③ 展示物の追加を推奨

開催館の所蔵標本・資料と組み合わせることで、地域性を活かした展示に加え、館の活動や魅力の発信にもつながる。

3. 対象団体

- ・ 原則として、国内の科学系博物館(総合博物館、自然史博物館、科学博物館、科学館)

4. 募集期間

- ・ **令和9年6月から令和10年9月**
- ・ 令和9年度分(令和9年6月～令和10年5月)と令和10年度分(令和10年6月～9月)に分けて募集を行います。

【募集期間枠】

- ① 令和9年6月～令和9年9月
- ② 令和9年10月～令和10年1月
- ③ 令和10年2月～令和10年5月
- ④ 令和10年6月～令和10年9月

※各募集期間中、2～3か月の開催をお願いいたします。

5. 開催会場等の条件

- ・ 展示面積 100 m²程度。梱装箱保管場所 20 m²を確保できること
※展示キット物量：自立式解説パネル 7 枚程度／展示ケース 10 台(最大)／
体験型展示 4 台(最大)／展示候補の標本・資料 28 点から選択／映像用サイネージ
- ・ 展示期間を2～3か月確保できること
- ・ 設営日数：搬入設営と撤収搬出に各2日程度を確保できること
- ・ 4トントラックで搬入・搬出できること
- ・ 直射日光が入らない場所であること
- ・ 温湿度管理ができる、虫が入りづらい環境など標本・資料の展示に適する環境であること
※選択する標本資料によって展示環境が異なります。詳しくは、別紙【展示候補の標本・資料一覧】をご参照ください。

6. 経費の分担

- ・ 開催館：会場造作(展示キット以外の追加パネルやスポット照明等)費、運営費、広報費、その他の経費
- ・ 国立科学博物館：展示什器・標本資料の輸送・輸送保険料、展示キットの設営・撤収費
※入場料を有料とする場合は、すべて開催館の歳入となります。

7. 応募締め切り

令和8年7月27日(月)17時まで

8. 応募資料の提出方法

- ・ 別添の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、会場の様子が分かる写真、会場図面を添えて、下記「11. 本件に関する問い合わせ先」のメールアドレス宛てご提出ください。(Word または PDF 形式で提出すること)

※参考として、別紙【展示候補の標本・資料一覧】を参照のうえ、展示物の借用にあたり興味のある分野

(動物・植物・地学・人類・理工)を教えてください。

9. 結果の通知

結果通知(内定)は、令和8年8月末頃を予定しています。

10. 参加にあたっての配慮事項

- ・ 実際に展示する標本・資料は、展示環境やご要望の分野、内容等を考慮し、当館と開催館で調整のうえ決定させていただきます。

※詳しくは、別紙【展示する標本・資料の選び方】をご確認ください。

- ・ 各館での展示期間は2-3カ月となります。開催希望期間は上記4の①～④の期間から複数候補をあげてお申し込みください。
- ・ 国立科学博物館の分担以外の開催に係る経費は開催館の分担となります。予算確保の見通しをもって、ご応募ください。

※国立科学博物館が負担する「輸送、設営・撤収費」は、当館筑波地区から4トントラックで開催館まで輸送し、開催館内は「階段なし(エレベータ可)」で運べる前提での費用で想定しております。4トントラックが付けられない、エレベーター(荷物用小型昇降機含め)の設備がなく搬入経路に段差がある場合などの特殊事情がありましたら、応募用紙の「備考」にお書きください。

11. 本件に関する問い合わせ先

国立科学博物館 展示部

常設展示・巡回展示課 巡回展示担当

TEL: 03-5814-9892

Mail: junkaiten@kahaku.go.jp

12. 本募集に関するウェブページ

<https://www.kahaku.go.jp/tenji/junkaiten/conn-future.html>

国立科学博物館巡回展「未来へつなぐ博物館」参考図

1. 展示什器

●展示ケース



【Sサイズ】



【Mサイズ】



【Mサイズ重量物用】



【Lサイズ】

【ケースのサイズ・台数】

Sサイズ (W610×D410mm)	1台
Mサイズ (W810×D510mm)	7台
M重量物用 (W810×D510mm)	1台
Lサイズ (W1210×D990mm)	1台

●挨拶及び章立ての解説パネル 7枚

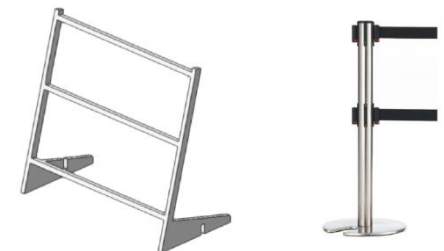


●映像用サイネージ 4台



●パーテーション (カルカロドントサウルス頭骨結界用)

木製バリケード or ベルトパーテーション(検討中)



●体験型展示 (4種類)

サイズ：W1200×D600×H600mm

くらべて発見！ヒトとチンパンジー

ヒトとチンパンジーの頭骨・手足の模型を触って比べ、異なる点や似ている点を体験する展示。



たくさん見ると世界が変わる

集まると違いが見えてくる「オオセンチコガネ」と、見る角度を変えて観察する「スッポンタケ」を解説した引き出し型の展示。



拡大模型でのぞくミクロの世界

見るための手段を知り、大きさを変えて見ることで、見え方が変わることを体験する展示。



ぐるり観察！生きもののすがた

回転台、虫メガネをヒントに、見る角度を変えることで新しい発見が生まれることを学ぶ展示。



2-1. 各展示物について

パネル (6枚)

プロローグ、エピローグ、各テーマ（集める、残す、調べる、伝える）について、それぞれ見出し・200字程度の解説テキスト・Q&Aで構成。Q&Aでは、テーマに関する問いと答えを易しい内容で示す。解説テキストを読みきれなくても、内容のエッセンスを持ち帰ってもらうことを意図。



標本・資料 (選択)

テーマごとに選択された各種分野の標本・資料と、その解説（ストーリー、キャプション、補足解説、キャッチコピーなど）で構成。各展示物はオムニバスで、単体で完結。様々なストーリーを通じて、テーマに関する博物館の営みにふれてもらい、標本・資料や博物館の価値を考えてもらうきっかけとする。



体験展示 (4種から選択)

展示内容に関連した4つの異なる「観察の工夫」を体験してもらい、見かたのコツや気づきのきっかけを持ち帰ることを目的にした体験展示。テーマに紐付けられていないので、自由に配置可能。



開催館の所蔵品 (任意)

開催館の標本・資料や展示などの活動を紹介するため、開催館の標本・資料・活動をテーマに沿った形で展示いただくことを奨励いたします。

2-2. 解説のイメージと展示物 ～「1章」の場合～

易

一部の解説文をよりやさしくし、お子さんでも理解しやすいようにしています。

パネル



章立て

1章「集める」

博物館では、さまざまな標本や資料を集めている。
科学系の博物館なら、生物・化石・岩石や・・・

Q&A

- ・何を集めるの？
- ・どうやって集めるの？
- ・どれだけ集めるの？

易

標本・展示



展示内解説

標本・資料ごとのエピソードを中心として展開。

解説テキスト
(ストーリー)

標本・資料
のキャプション

キャッチフレーズ
“レプリカも大事な
標本の一つです”

易

開催館の所蔵品を展示する場合は、開催館で所蔵品分のパネル・ラベルを作成いただきます。必要に応じて展示什器もご用意ください。



標本・資料は開催館側で選択

※パネル・ラベルのフォーマットデータは提供いたします。

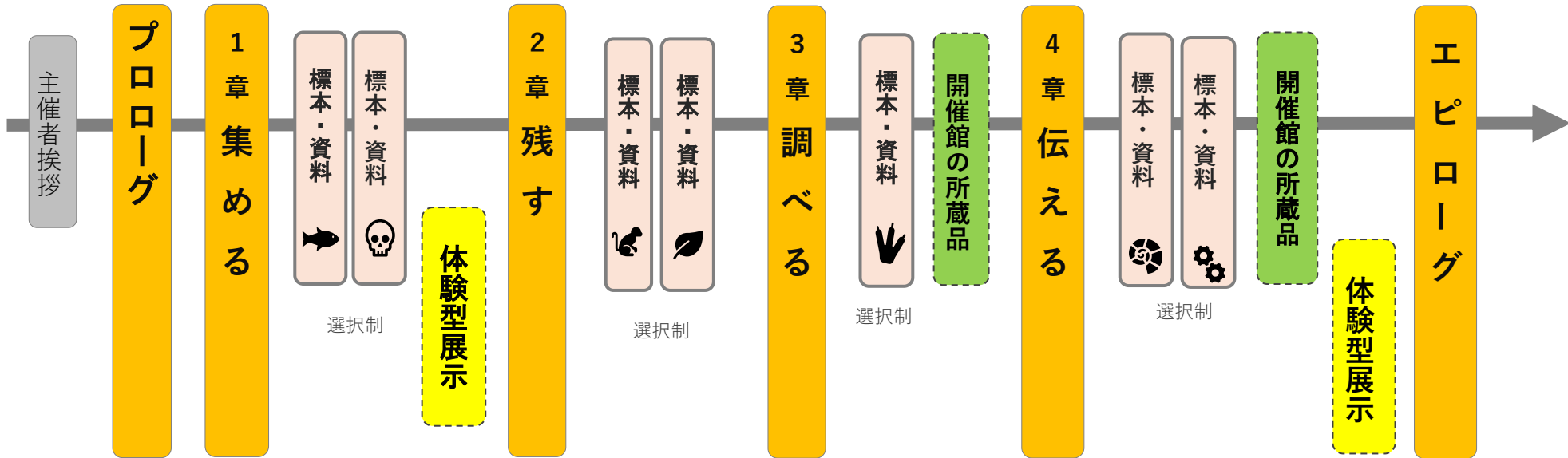
体験型展示

易

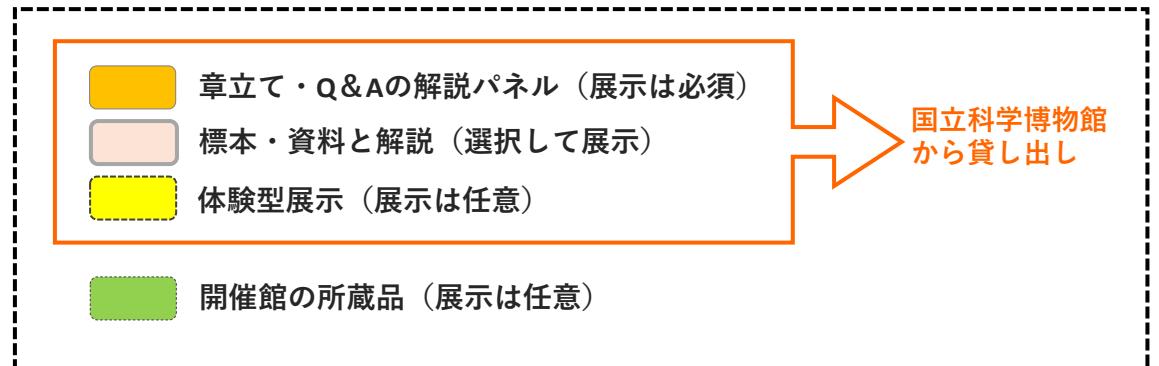
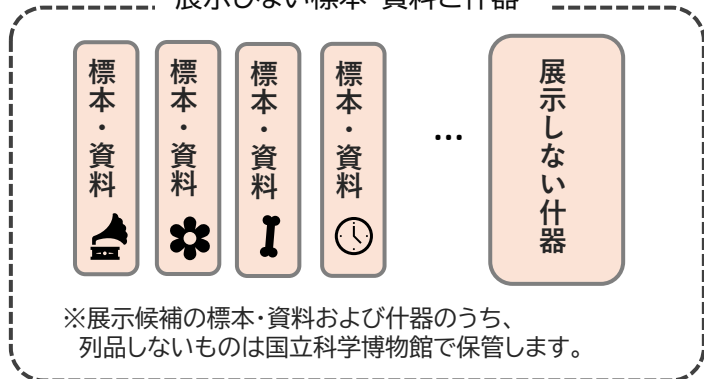


3. 展示構成のイメージ

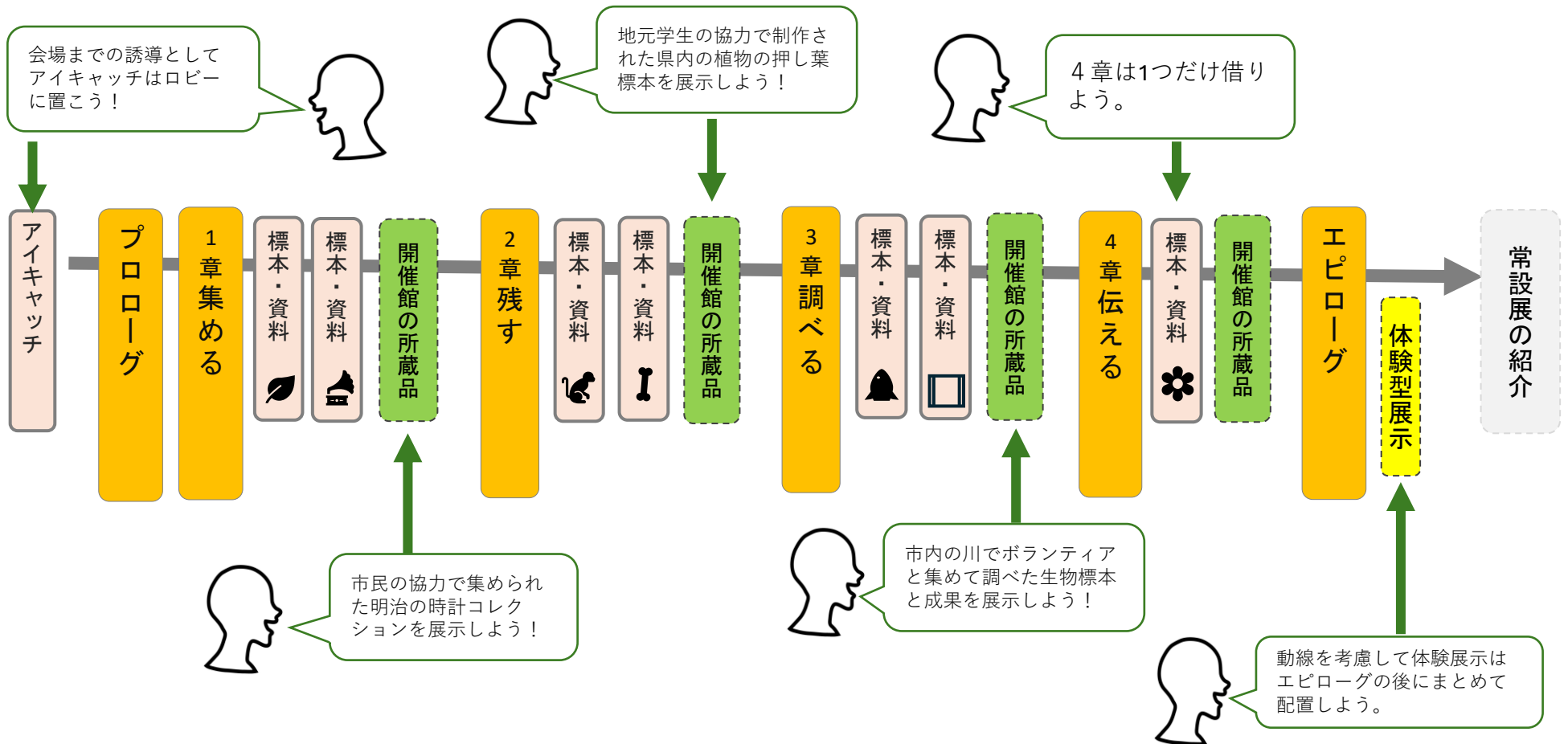
※展示できる標本・資料数は会場の大きさや形状により異なります



展示しない標本・資料と什器



【例】総合博物館の展示構成案 (自然史・科学史の幅広い内容から標本・資料を選択)



展示する標本・資料の選び方

以下1～5の条件・ポイントを参考にして、開催館の会場の展示環境や広さなどから標本・資料をお選びください。

【標本を選ぶ際の条件・ポイント】

1. 展示会場の環境・条件

(1) 遮光措置

- ・直射日光が当たる場所、半屋外の場所は避けてください。
- ・外光が入る場合(会場に屋外への窓やガラス張りの場所があり、紫外線が入る)
⇒遮光カーテンなどで外光が入らないよう対処する。

(2) 会場の温湿度管理

空調が効きにくい場所の場合は、標本資料リストの「温湿度管理」と記載があるもの以外から選ぶ。

★標本・資料を選ぶ際の決まりごと★

「集める、残す、調べる、伝える」各章それぞれに、国立科学博物館の標本・資料を「最低1つ」は置くように選んでください。

2. 貸出可能な展示ケース数の制限

- ・巡回展の展示ケースは、サイズが「S、M、L」の 3 種類があり、貸し出しできるケースは、すべて合わせて最大 10 台です。
- ・L サイズの標本を選ばない場合は、S または M サイズの標本資料を2つ追加できます。
- ・開催館所有のウォールケースなどを使用する場合、巡回展の展示ケース数に関係なく、標本・資料をお貸出しすることも可能です。

3. 体験型展示について

- ・標本・資料に加え体験型展示の準備もあります。体験型展示は全部で「4種類」あり、好きな数をお貸出しできますが、輸送の関係上、お貸出しできる展示ケースの数を調整させていただく可能性があります。
- ・会場内の置き場所は、4つの各章に1つずつ入れる、まとめて最後に置くなど、開催館の運用に合わせてお決めください。
- ・お子様が触る・動かす展示のため、設置期間中は定期的に巡視し、破損や危険な状況がないかの確認をしていただくことになります。
- ・体験展示のみの貸出し(標本・資料は借りない)は対応できません。

4. カルカロドントサウルス頭骨のレプリカ(大型展示)について

- ・企画展示室の入口や、案内カウンターの横などに置いて、巡回展示の会場に誘導するための「アイキャッチャー」とすることができます。
- ・4つの章に紐づける必要はなく、巡回展示の部屋から離れた場所に置くことができます。
- ・「アクリルカバー」が無く、「結界(仕切り)」で囲うタイプのもので、結界の中にお客様が入らないよう、なるべくスタッフの目に届きやすい場所が望ましいです。





【5. 開催館が所有する標本・資料を合わせて展示する（推奨）】


「集める」「残す」「調べる」「伝える」のテーマごとに、開催館がお持ちの標本・資料を追加して、展示いただくことを推奨いたします。

↓ ↓







ぜひ、貴館の特徴をあらわすもの、地域ならではのもの、貴館の「一押し」のものを合わせて展示してください。

●集める

分野	標本・資料	画像	種類	実物orレプリカ	サイズmm (WDH)	対応する展示ケースのサイズ	必要な会場条件
動物	クニマス剥製		クニマス剥製	実物	W280*D100*H180程度 (メス1体)	S	遮光措置 温湿度管理
動物	北の海から姿を消したナガガキ		ナガガキ、マガキ 1対ずつ	実物	①ナガガキ W210*D70 W230*D80 ②マガキ W130*D60 W105*D55	M	遮光措置 温湿度管理
植物	地域の植物相をあらわす寄贈標本 (押し葉標本と関連する文献)		植物・押し葉標本と 関連する文献	実物	・押し葉標本 W297*D420*H5 (A3用紙サイズ程度) × 1~数点 ・文献 W180*D260*H5程度	M	遮光措置
植物	ユニークな調査道具4点セット 「お茶パック」 「ドライフルーツ作製機」 「おたま」 「茶こし」		お茶パック	実物	W150*D100*H20	M	なし
			ドライフルーツ作製機	実物	W350*D350*H280		
			おたま	実物	W90*D70*H300		
			茶こし	実物	W35*D75*H200		
地学	震災の爪痕を小さな生きものから探る 「有孔虫の標本 (スライド)」 ・東日本大震災 (2011年) 以前の標本 ・2011年 地震でかく乱された標本		震災の爪痕を小さな 生き物から探る (有孔虫スライド)	実物	スライド W50*D20*H17 (枠にはめて展示) ※枠 W180*D305*H10程度	M	遮光措置 温湿度管理
人類	海外出土の有名人類化石レプリカ ①猿人 (バ vantロブス・ボイセイ) ②ホビット (ホモ・フロレシエンシス) ③クロマニヨン人		海外出土の有名人類化石 レプリカ	レプリカ	①猿人 W150*D220*H130 ②ホビット W90*D160*H120 ③クロマニヨン人 W150*D200*H170 *ホビットとクロマニヨン人は頭骨と 下顎がわかれている。 *猿人は頭骨部分のみ。	M	遮光措置
理工	昔の電話機 「デルビル電話機 (明治)」 「2号電話機 (明治)」		昔の電話機	実物	①デルビル電話機 W270*D130*H360 ②2号電話機 W270*D300*H275	M	厳重な遮光措置 温湿度管理




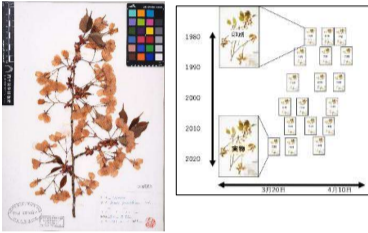



理工	エジソン博物館からの寄贈資料 蓄音機		蓄音機	実物	W410*D390*H550 ※ラック設置後のサイズ	M	厳重な遮光措置 温湿度管理
----	-----------------------	--	-----	----	-------------------------------	---	------------------

●残す

研究分野	標本・資料	画像	種類	実物orレプリカ	サイズmm (WDH)	対応する展示ケースのサイズ	必要な会場条件
動物	同種の複数形態の標本 (本剥製・仮剥製・骨格) 「コモンマーモセット」		本剥製 仮剥製 骨格 (研究用)	実物	①本剥製 W300*D180*H430 ②仮剥製 W600*D80 ③骨格標本 W150*D290	M	遮光措置 温湿度管理
動物	乾燥してしまった液浸標本 「ニホンアマガエル液浸標本 (乾燥)」 「ニホンカナヘビ液浸標本 (乾燥)」		液浸標本 (乾燥)	実物	・カナヘビ液浸標本 70φ *H135 ・カナヘビ乾燥標本 85φ *H120 ・カエル液浸標本 50φ *H100 ・カエル乾燥標本 65φ *H120	S	遮光措置
植物	虫害に遭った標本 「押し葉標本と害虫トラップ」		植物・押し葉標本と 害虫トラップ (写真)	実物	・押し葉標本 W310*D435*H5×2 (A3用紙サイズ程度) ・害虫トラップ W90*D170*H45	M	遮光措置
植物	野生種と園芸種の対比 押し葉標本 「キーウィ (園芸) vMサルナシ (野生)」		植物・押し葉標本	実物	・押し葉標本 W297*D420*H5×2 (A3用紙サイズ程度)	M	遮光措置
地学	化石のクリーニング中の貝化石 「巻貝 Vicarya verneuili ヘルヌイルビカリア」 「二枚貝1点 Matsumotoina matsumotoi」 「割っただけの化石と母岩」		化石	実物	①巻貝 W45*D90 ②二枚貝 W 50*D40 ③化石と母岩 W120*D90*H25	S	遮光措置 軽度の温湿度管理
人類	ネアンデルタール人の子供の埋葬 「デデリエ1号人骨出土状況のレプリカ」		デデリエ1号人骨出土状況の レプリカ	レプリカ	W605*D910*H120	L	遮光措置
理工	動く状態で保存された 昔の掛時計と専用の調整工具 「八角合長掛時計」 (中の機械部分は写真展示)		柱時計	実物	●掛時計 W300*D130*H480 ●専用工具 ・C形クランプ φ70mm*H2 ・棒カギセット W30*D180	M	厳重な遮光措置 温湿度管理

●調べる

研究分野	標本・資料	画像	種類	実物orレプリカ	サイズmm (WDH)	対応する展示ケースのサイズ	必要な会場条件
------	-------	----	----	----------	-------------	---------------	---------

動物	ホホジロザメ頭部剥製		ホホジロザメ頭部剥製	実物	W650*D510*H600*	L	遮光措置 温湿度管理
地学	フタバズキリュウ (Futabasaurus suzukii) 頭骨 復元レプリカ (レプリカ下に雌型が付いている)		フタバズキリュウ (Futabasaurus suzukii) 頭骨 復元レプリカ	レプリカ	・頭骨復元レプリカ W540*D200*H180 ・雌型 W550*D280*H160	M	温湿度管理
植物	のちの研究で新種とわかった標本 「ベトナム産植物の押し葉標本」と論文		植物・押し葉標本と 論文	実物	・押し葉標本 W297*D420*H5 (A3用紙サイズ程度) ・論文 A4サイズ程度	M	遮光措置
植物	開花期の経年変化を示す、色鮮やかな標本 「ヤマザクラの押し葉標本」		植物・押し葉標本と パネル	実物・写真	W297*D420*H5×2 (A3用紙サイズ程度)	M	遮光措置
地学	チバニアン ^① の岩石、 岩石から取り出した有孔虫のスライドガラス		チバニアン ^① の岩石 2個 スライドガラス 3枚	実物	・チバニアン岩石 W100程度×2 ・スライドガラス W50*D20程度×3	M	遮光措置
人類	DNAサンプリングした人骨標本 「縄文人頭骨のレプリカ」(歯や大腿骨) 「CT画像」 「CT画像から復元した3Dのレプリカ」 「DNA抽出物を模した液体を入れたチューブ(ダミー)、DNA抽出実験で使うピペット、チップ、試薬などの道具」		・蝦島57号頭骨レプリカ ・CTから復元した 内耳の拡大模型 ・DNA抽出道具 ・CT画像	レプリカ	・頭骨レプリカ W140*D220*H140 ・内耳拡大模型 W60*D85*H45 DNA抽出道具 ・チップ箱 W125*D85*H76 ・チューブ(箱入り) W90*D60*H50 ・試薬 20φ*H56 ・ピペット W70*D260*H30	M	遮光措置
理工	旧・電気試験所(産技総研の前身)由来の 「電流計」		電流計	実物	W440*D260*H140	M 重量物	厳重な遮光措置 温湿度管理
理工	地震や噴火の被害写真 幻燈・紙焼きの複製 (1888 磐梯山噴火、1923 関東地震)		幻燈写真 紙焼き写真	レプリカ	・磐梯山噴火写真(幻燈) W85*D85 ・関東地震写真(紙焼き複製) W165*D106	M	遮光措置

●伝える

研究分野	標本・資料	画像	種類	実物orレプリカ	サイズmm (WDH)	対応する展示ケースのサイズ	必要な会場条件
植物	生きた状態を保存した樹脂標本： 維管束植物		植物・樹脂標本	実物	・フクジュソウ '福寿海' W140*D60*H250 ・ユキワリイチゲ W100*D60*H250 ・セツブンソウ W100*D60*H150 ※植物は変更の可能性有り	S	遮光措置

地学	触ることのできるアンモナイト		触ることのできるアンモナイト (アンモナイトが22種類入っている)	実物	W390*D250*H200 (15kg程度)	M 重量物	なし
人類	江戸時代の町人 「池之端七軒町遺跡 6/162/B-2 頭骨」		池之端七軒町遺跡 6/162/B-2 頭骨 (複製)	レプリカ	W160*D260*H180	M	遮光措置
	江戸時代の町人の復顔模型		江戸時代の町人の復顔 (池之端七軒町遺跡 6/162/B-2 頭骨からの復顔)	レプリカ	W190*D290*H360		
理工	機構模型 (メカニズムの実験装置) 各種 ・複動つめ車 ・弧状滑子クランク ・四角歯車		機構模型	実物	①複動つめ車 W160*D120*H290 ②弧状滑子クランク W280*D130*H200 ③四角歯車 W210*D130*H160	M	厳重な遮光措置 温湿度管理

●アイキャッチャー (大きい標本)

研究分野	標本・資料	画像	種類	実物orレプリカ	サイズmm (WDH)	対応する展示ケースのサイズ	必要な会場条件
地学	カルカロドントサウルス頭のレプリカ		カルカロドントサウルス頭のレプリカ	レプリカ	W1800*D900*H2000程度 (WとDは台座サイズ)	結界で囲う	なし

●ケース貸出可能数予定

- ・S 1台
- ・M 7台
- ・M重 1台
- ・L 1台
- ※体験展示 4種

巡回展「未来へつなぐ博物館」

応募用紙

令和8年 月 日

1. 応募者について

施設名 住所	施設名 住所
設立分類 ※該当を○で囲んでください	・国 ・地方公共団体 ・独立行政法人 ・一般財団法人 ・公益財団法人 ・一般社団法人 ・公益社団法人 ・学校法人 ・宗教法人 ・NPO 法人 ・会社組織 () ・その他 ()
開催博物館の分類 ※該当を○で囲んでください	・総合博物館 ・自然史博物館 ・科学博物館 ・科学館 ・その他 ()
代表者職名・氏名	
担当者 (職名・氏名) (TEL、E-mail)	担当者職名： 氏名： TEL： E-mail：
	担当者職名： 氏名： TEL： E-mail：
令和7年度の入館者数	

※運営が指定管理者に委託されている場合（予定も含む）

指定管理者名	
契約期間	

2. 開催希望期間及び展示環境について

開催希望期間 ※募集期間枠①～④、 希望の開催期間を記入	第1希望 募集期間枠【 】	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ※最長期間で記入
	第2希望 募集期間枠【 】	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ※最長期間で記入
	第3希望 募集期間枠【 】	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ※最長期間で記入
開催会場	会場名	
	会場の様子が分かる写真を添付 会場図面（階数入り）、館内配置図、搬入口を添付	
会場の面積 (㎡)	㎡	基本面積 100 ㎡程度。会場の広さに応じて展示什器の内容を削減可能（応相談）。会期中は標本資料の梱包箱等の保管場所が必要。
搬入口サイズ	高さ cm、幅 cm	
エレベーターサイズ	(庫内) 高さ cm、幅 cm、奥行 cm (間口) 高さ cm、幅 cm ※会場までの経路にある場合	
4 tトラック搬出入	可 ・ 不可	
搬入口から会場までの 階段・段差の有無	有 ・ 無 ※エレベーターで輸送できれば記入不要	
電気設備	有 ・ 無 ※電気配線が必要な什器あり	
温湿度調整	可 ・ 不可 湿度管理が必要な標本・資料を選択する場合は、加湿器等を利用したうえ湿度確認が必要（応相談）。	
遮光対策	可 ・ 不可 直射日光は避け、遮光カーテンなどでの遮光が必要（応相談）。	
備考欄	※輸送上の特殊状況、ご質問、ご希望など	

3. 興味のある標本・資料の分野

展示物借用にあたり興味のある分野 に○をつけてください（複数可）	動物 ・ 植物 ・ 地学 ・ 人類 ・ 理工
-------------------------------------	------------------------